

# ウォーターサーバー取扱説明書

型式:HTB-1604S  
(S型)  
卓上型

ウォーターサーバーからは熱湯が出ます。  
お子様などのヤケドにつながる恐れがありますので  
取扱いには十分ご注意ください。

ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、  
正しくお使いください。お読みになった後も、  
この取扱説明書はこの製品をご使用になる方が  
いつでも見られるように大切に保管して下さい。

2018.07 (5)

## 安全上の注意事項

お使いになる方や他の方への危害、財産への損害を未然に防止するために、次のような区分表示をしています。いずれも安全や衛生に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容を理解して正しくお使い下さい。

<b>警告</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
<b>注意</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
<b>お願い</b>	ご使用時のお願いです。

### 表示の例

<b>禁止</b>	左記の記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は「禁止」)が描かれています。
<b>注意</b>	左記の記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な指示内容(左図の場合は「注意」)が描かれています。

## 警告 (設置上の注意事項)

<b>注意</b>	設置面が水平で丈夫な所に設置してください。設置面が安定していないと、転倒や落下により事故やケガ、感電、火災、火傷の恐れがあります。
<b>禁止</b>	延長コードの使用やタコ足配線はしないでください。異常発熱し、発火や感電することがあります。
<b>注意</b>	ウォーターサーバーの背面と側面は10cm以上あけてください。冷却性能確保のため必要です。壁が汚れたり、火災や故障の原因となります。
<b>禁止</b>	電源は単相100Vで定格15A以上の専用コンセントを単独で使用してください。
<b>禁止</b>	電源コード、電源プラグの破損・加工をしないでください。束ねたり無理に曲げたり、引っ張ったり物を乗せたり、衝撃を与えたりして、無理な力を加えない、傷つけない、加工しない。感電、ショート、火災の原因となります。
<b>必ずアースしてください。</b>	故障や漏電のとき、感電する恐れがあります。

### アース接続

## 注意 (設置上の注意事項)

<b>禁止</b>	屋外や湿気の多い場所、換気の悪い場所、周囲温度が氷点下になる場所、直射日光があたる場所やストーブなど発熱物のそばには設置しないでください。使えなくなったり、機器の性能が得られなかったり、機器の寿命を短くし、安全を損なう恐れがあります。不衛生になると臭いや雑菌発生の原因となり、それを飲用した場合は体調に悪影響を及ぼす恐れがあります。
<b>禁止</b>	サーバーやボトルの周囲にのびのびの強いものを置かないでください。水の風味に影響を及ぼすことがあります。
<b>禁止</b>	可燃性ガスの漏れる恐れのある場所やシンナー等の揮発性の高い溶剤等を機器の近くで使用しないでください。爆発や火災の恐れがあります。
<b>注意</b>	電気プラグにホコリがないか確認し、コンセントにプラグの根元まで確実に差し込んでください。ホコリが付着したり、接続が不完全な場合は感電や火災の恐れがあります。
<b>禁止</b>	ホコリっぽい場所や不衛生な場所には設置しないでください。水質が変化してそれを飲用した場合、体調に悪影響を及ぼす恐れがあります。

## 警告 (使用上の注意事項)

<b>濡手禁止</b>	電源プラグは濡れた手でさわらないでください。感電の原因となります。
<b>禁止</b>	お客様ご自身では絶対に分解したり修理改善は行わないでください。異常作動したり、感電や漏水の原因となります。
<b>必ず行う</b>	電源プラグのホコリは定期的に取り除いてください。ホコリがたまり火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。
<b>電源抜く</b>	焦げ臭い等の異常がある場合は、電源プラグを抜いて、TOKAIお客さまセンター(0120-979-113)に連絡してください。
<b>禁止</b>	幼児や正しく操作することが困難な人が、一人で操作しないでください。火傷や感電の恐れがあります。
<b>禁止</b>	背面の放熱部から指や棒を入れないでください。高温タンクで火傷したり、感電の恐れがあります。
<b>禁止</b>	電源コードを持ってプラグを引き抜かないでください。コードを持って引き抜くとコードが破損し発熱、火災、感電の恐れがあります。
<b>絶対禁止</b>	ボトルに他の水や液体を入れたりそのボトルを機器に装着して使用しないでください。不衛生になると臭いや雑菌発生の原因となり、それを飲用した場合は体調に悪影響を及ぼす恐れがあります。

## 各部の名称と仕様

**[タッチパネル]**

- ◇ クリーン灯
- ◇ 内部クリーンボタン
- ◇ HOT灯
- ◇ 温水ロックボタン
- ◇ COLD灯
- ◇ 冷水ロックボタン
- ◇ ロック灯
- ◇ ライトセンサー灯
- ◇ ライトセンサー
- ◇ 光感知部

**[正面]**

- ◇ タッチパネル
- ◇ 冷水注水口
- ◇ 冷水注水ボタン
- ◇ 温水注水口
- ◇ 温水注水ボタン
- ◇ 水受皿

**[上面]**

- ◇ リングトップ
- ◇ ウォーターガード
- ◇ ボトル差込口
- ◇ ボトルガイド
- ◇ ボトルカバーガイド
- ◇ サーバートレイ
- ◇ 冷水切替スイッチ
- ◇ 温水切替スイッチ

**[背面]**

- ◇ ヒューズ
- ◇ HOT S/W(ホットスイッチ)
- ◇ 温水のON/OFFスイッチ
- ◇ LIGHT SENSOR(ライトセンサースイッチ)
- ◇ ライトセンサーのON/OFFスイッチ
- ◇ 冷水タンク
- ◇ 温水タンク
- ◇ 高温注意
- ◇ 電源プラグ
- ◇ 電源コード
- ◇ 温水ドレン口
- ◇ 温水タンクの排水口
- ◇ 熱湯に注意
- ◇ コンプレッサー
- ◇ アース
- ◇ コンデンサ

**1) ウォーターサーバーの設置** 電源コードは1.7mです。

- ① サーバートレイとサーバーを箱から出して下さい。
- ② コンセントのある場所にサーバートレイをセットしてください。角が丸い方が前側です。
- ③ サーバートレイのガイド穴にサーバーのゴム脚を合わせて載せてください。

**注意** まだ、コンセントに電源プラグを差し込まないでください。

**チェックポイント**

- ① 0℃以下の低温となる場所に設置しないでください。
- ② 平らで安定した場所に設置してください。
- ③ 後方が壁から10cm、側面も10cm以上離して設置してください。
- ④ 設置や移動時にはウォーターサーバーを45度以上傾けないでください。
- ⑤ 屋外や直射日光のあたる場所やストーブの近くに設置しないでください。
- ⑥ 温水ドレン口が閉まっているか確認してください。

**2) アースの取り付け**

**注意** アースは万一の感電事故を防ぐためのものです。安全のため必ず取り付け付けてください。

**アース接続**

**3) ボトルの準備**

- ① ボトルのシュリンクカバー(透明のフィルム)を外します。
- ② ボトルの表面を清潔な乾いたキッチンペーパー等で乾拭きしてください。
- ③ プラスチックキャップの上面のキャップを剥いてください。

**注意** プラスチックキャップは絶対外さないでください。当社マーク入りのボトル以外は使用しないでください。

## 設置方法

**4) ボトルをウォーターサーバーにセット**

ウォーターサーバー上面のウォーターガードの中央部のパイプへボトルを逆さまにして、真下に手早くしっかり差し込んでください。

**注意** ボトルを差し込んだ後、ボトルを押したり、揺したりしないでください。

**チェックポイント**

ボトル内にゴボゴボと大きな泡が1~2分間出て、水の流れが止まるまで確認してください。

**5) 電源プラグをコンセントに差し込む**

電源プラグの注意タグを外してからプラグをコンセントに押し込んでください。COLD灯が点灯し、冷水運転を開始します。

**禁止** コンセントのタコ足配線は発熱し、火災の恐れがありますので単独で使用してください。

**6) 温水タンク内のエア抜き**

タッチパネルの[温水]を3秒以上長押し(①)してください。HOT灯が点滅します。HOT灯が点滅中に、温水注水ボタンを押します(②)。この時右図のようにコップ等で水を受けてください。水が出てきたら、エア抜きは完了です。

**必ず行う**

**7) HOT S/W(ホットスイッチ)をONにする**

これで温水運転を開始します。HOTモードなら赤色、ECOモードなら緑色が点灯します。

**注意** 温水を使用しない場合でも、HOT S/W(ホットスイッチ)は必ずONにしてください。温水切替スイッチはECOモードでもお使いいただけます。

設置終了後30~40分で温水および冷水が過温となります。(室温により時間が延びることがあります)

**8) 設置の確認**

ボトルや温水・冷水蛇口、背面の温水ドレン口など、ウォーターサーバーの周辺から水漏れがないかチェックしてください。

**9) 冷水・温水の蛇口よりコップ2杯分以上の水を取水して捨ててください。**

## 注意 (使用上の注意事項)

<b>禁止</b>	他のボトルは使用しないでください。このウォーターサーバーは当社ボトル専用です。水漏れの原因や不衛生になると臭いや雑菌発生の原因となり、それを飲用した場合は体調に悪影響を及ぼす恐れがあります。
<b>注意</b>	2週間以上使用しない時はTOKAIお客さまセンター(0120-979-113)に連絡してください。
<b>注意</b>	1ヶ月以上使用しない時はTOKAIお客さまセンター(0120-979-113)にメンテナンス(有償)を依頼してください。
<b>注意</b>	ボトルの差込口周辺や冷水・温水蛇口の出口部は時々清掃してください。不衛生になると臭いや雑菌発生の原因となり、それを飲用した場合は体調に悪影響を及ぼす恐れがあります。
<b>禁止</b>	背面の温水ドレン口のキャップを緩める(外す)と熱湯が出て火傷をする恐れがあります。水抜き以外では絶対に触れないでください。水抜きの場合は、電源を抜いて60分以上放置してから実施してください。
<b>高温注意</b>	温水を出す時は火傷に注意してください。
<b>注意</b>	HOT S/W(ホットスイッチ)はOFFにしないでください。一年中スイッチを入れたままにして下さい。不衛生になると臭いや雑菌発生の原因となり、それを飲用した場合は体調に悪影響を及ぼす恐れがあります。
<b>注意</b>	ご使用時に特にご注意ください。[5. ご使用時に特にご注意ください]をご覧ください。
<b>注意</b>	壁とウォーターサーバーの間にものを置かないようにしてください。冷却性能確保のため必要です。火災や故障の原因となります。
<b>注意</b>	電源コードが破損した場合は、電源プラグを抜き、TOKAIお客さまセンター(0120-979-113)に連絡してください。

## お願い

<b>電源抜く</b>	雷が発生しはじめたら、すみやかに使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜いてください。雷により一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。雷がやんだら電源プラグを差し込んでください。
<b>注意</b>	ボトルの取り扱いに注意 「6. ボトルのお取り扱いについて」をご覧ください。

## ご使用方法

**1) 冷水の出し方**

タッチパネルの[冷水]を1回押してから(①)、冷水注水ボタンを押します(②)。

**2) 温水の出し方**

タッチパネルの[温水]を3秒以上長押ししてから(①)、温水注水ボタンを押します(②)。熱湯が出ますのでご注意ください。

**チェックポイント**

操作後、5秒間は再度注水ボタンを押すと熱湯が出ます。  
※HOT灯点滅中に冷水注水ボタンを押すと直ちに湯が出ない状態にすることができます。

**注意**

- ・温水を出す時はヤケドに注意してください。
- ・小さなお子様には使用させないでください。ヤケドの恐れがあります。
- ・ボトルが空になると、冷水は出ますが、温水は出なくなります。
- ・ボトルを交換すると、すぐにお湯が出ます。

**3) チャイルドロック**

タッチパネルの[温水]と[冷水]を5秒間長押しすると、全ての操作ができなくなります。解除する時はもう一度[温水]と[冷水]を5秒間長押ししてください。(ロック中はロック灯が赤で点灯します。)

**4) 温水・冷水切替スイッチの使い方**

温水切替スイッチ	HOTモード	ECOモード
出湯温度	80~90℃	60~70℃
HOT灯の色	赤色	緑色
最大連続取水量	温水 約1.0ℓ(180mlの컵約6杯)	

冷水切替スイッチ	ECOモード	GOLDモード
運転モード	弱冷(4~12℃)	強冷(3~8℃)
COLD灯の色	緑色	青色
最大連続取水量	冷水 約1.3ℓ(180mlの컵約7杯)	

・外出時や就寝時にECOに切替えると電気代の節約になります。  
・温水切替スイッチをECOからHOTに変更すると、約15分で温水が設定温度になります。  
・能力を超えて取水すると設定温度が得られなくなります。しばらくしてからご使用ください。

**5) LIGHT SENSOR(ライトセンサースイッチ)について**

LIGHT SENSORをONにする(ライトセンサー灯が緑色で点灯します)と、お部屋の明るさを感じて、周囲が暗くなると、温水をOFFにして自動で節電します。そのため、明るくなった直後にはお湯がぬるい場合があります。LIGHT SENSORをOFFにすると、明るさに関係なく温水がご利用いただけます。

**6) 操作音のOFFについて**

タッチパネルの[冷水]を5回連続押しすると操作音がOFFになります。もう一度5回連続押しすると操作音がONになります。

## ご使用時に特にご注意いただきたいこと

### 1) 乳幼児がウォーターサーバーに近づかないようにご注意ください。

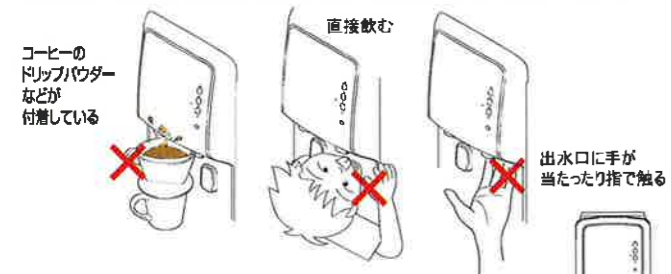


**ウォーターサーバーに乳幼児が近づかないようにしてください。**  
※火傷の恐れがあります。



### 2) 冷水や温水を要する容器は、蛇口の真下で出水口から少し距離をあけて受けて下さい。出水口に揮や食品が触れないように注意してください。

・出水口に容器が近すぎると、出水口が容器内の液体に濡れてしまい、不衛生になります。注水の際に、コーヒー、紅茶、アルコールなどが跳ね返って付着し、カビや雑菌の発生原因となる恐れがあります。  
・揮や食品に付着している雑菌が出水口に付着して、注水される水が不衛生になります。



### 3) 水受皿に容器を置いて、通水や冷水を出さないでください。容器が倒れ、床面が濡れたり火傷をしたりする恐れがあります。容器は手に持ってお使いください。

### 4) ボトルの取り外し方。

- ①ボトルの中栓が外れて浮いていないことを確認してください。中栓が外れている状態でボトルを抜くと水が漏れてしまいます。この場合は水を使い切ってから抜いてください。
- ②ボトルを外す時は必ず真上へ一気に引き上げてください。ボトル内の中栓がボトルを引き上げるにより、自動的に締まりますので、ボトル内に水が残っていても水は漏れません。
- ③ゆっくりボトルを引き抜くと中栓が締まらないことがあります。ボトル内に水が残っている場合は濡れることがあります。
- ④機器の構造上ですが、水がボトル内に残りますのでご了承をお願いします。



### 5) ボトルの取り付け方。



**ボトルは大変重いので取り扱いにはご注意ください。**

①交換する新しいボトルを機器の近くに用意してください。新しいボトルの表面を清潔な乾いたキッチンペーパーなどできれいに拭きとってください。

②ボトル差込口はボトルを挿し込む前に、リングトップ、ボトルガイドを外し、キッチンペーパーなどで空拭きしてください。(7. お手入れ方法と日常点検)参照)



③新しいボトルのシュリンクカバーを外し、キャップシールを剥がしてください。ボトルを逆さまに持ち上げ、差込口に真下に手早くしっかりと差し込んでください。ボトルがウォーターガードにあたるまで押し込んで完了です。



**ボトルが斜めになっているとボトルの中栓が外れてしまい、水中に浮き上がってしまう場合があります。そのまま使っていたとしても使用には差し支えありませんが、この場合、ボトルに水が残っている状態でボトルを外すと水が漏れますので完全に使い切ってから外してください。ボトルを斜めに差し込むとキャップが割れ、機器内に割れカスが入る場合がありますのでご注意ください。**



### チェックポイント

- ①温水蛇口から温水が出なくなります。
- ②新しいボトルに交換するとすぐに温水が出てきます。

## ボトルのお取り扱いについて

ボトルはレンタル品です。絶対に市販のミネラルウォーターやその他の飲料を入れて使用しないでください。

### 1) 賞味期限

①未開封の賞味期限はボトルキャップの側面に印字されています。開封後はなるべく早くお飲みください。



### 2) 保管について

- **ポトは横にして保管しないでください。水が漏れる恐れがあります。必ずボトルを立てた状態で保管してください。**
- **保管にあたっては、室内で温度変化の少ない清潔な場所で保管してください。**
- **次のような場所での保管は、絶対にしないでください。**
  - 屋外、ベランダなど直射日光や雨の当る場所
  - ホコリが多い場所
  - 高温多湿になる場所
  - 氷点下になる場所
  - においの強いもの(台所油や芳香剤など)の近く

### 3) 使用済みのボトルについて

- **ボトルは空になると必ず回収させていただきます。再び洗浄・充填をして繰り返し使用する容器です。**
- **①他の用途には絶対に使用せず、すみやかに返却をお願いします。**
- **②空になったボトルを破損させたり、汚染させないでください。またプラスチックキャップの部分も傷をつけたり、外したりしないでください。このような場合には別途費用のお支払いが発生しますのでご注意ください。**

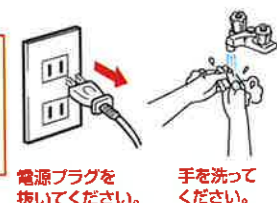
## お手入れ方法と日常点検

ウォーターサーバーの衛生管理で一番重要なことは、賢飲のお客さまご自身によるお手入れです。特にペットを室内で飼っている場合、人の出入りが多い場所に設置している場合は、特にお手入れを頻繁に行ってください。

### 1) 普段のお手入れ



**お手入れの前にウォーターサーバーの電源プラグを抜いて、手を洗ってください。濡れた手でお手入れはしないでください。お手入れには台所用アルコール除菌剤と清潔なキッチンペーパー等を使ってください。**



### ① 頻繁に行っていたくお手入れ

#### a. ボトル差込口及び周辺(ボトル交換時)

- ボトル差込口に水が溜まっていたり、汚れが付着していると雑菌が繁殖する恐れがあります。
- 水がたまったままボトルをセットすると、水が飛散したり、思わぬ場所から漏れ出す恐れがあります。
- ボトル交換のたびに、ボトルガイドを取り外して水がたまっていないか確認いただき、水分を取り除いてから、台所用アルコール除菌剤をキッチンペーパーなどに吹き付けて消毒し、拭き取ってください。



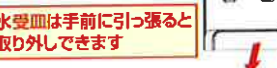
#### b. 冷・温水蛇口(一日一回以上)

- 蛇口の吐水口を外して洗うことができます。
- **温水蛇口は熱くなっていることがあります。火傷に注意してください。**



#### c. 水受皿(一日一回以上)

- 食器洗い用中性洗剤でスポンジ等を使い洗ってください。
- **水受皿は手前に引っ張ると取り外しできます。**



### ② 定期的に行っていたくお手入れ

#### a. 本体外面(一週間に一回程度)

- 清潔なタオル等で乾拭きしてください。汚れがひどい時は食器洗い用中性洗剤を使用して拭きとってください。研磨剤入り洗剤で磨かないでください。

#### b. 背面部分(コンデンサ)(一週間に一回程度)

- ウォーターサーバーの背面は放熱部となっています。ホコリが付着すると冷却能力が低下します。やわらかいブラシや掃除機等で掃除してください。

#### c. 電源プラグ(一週間に一回程度)

- 電源プラグの刃先にホコリが付着するとトラッキング現象が起こり、発煙発火することがあります。掃除機やブラシ等でホコリを取ってください。



## お手入れ方法と日常点検

### 2) 内部クリーンについて

内部クリーンはウォーターサーバー内の冷水タンクに温水を循環させて、殺菌を行い、内部の環境を衛生的に維持します。週に1度を目安にご使用ください。

#### ① 操作方法

- ボトルに水が残っていることを確認してください。(水がないと殺菌になりません。)
- タッチパネルの[内部クリーン]を3秒以上長押しします。
- クリーン灯が点灯し、温水循環が開始します。
- 内部クリーンを開始すると温水は約2時間、冷水は約4時間使用できなくなります。
- 作業終了後、冷水の温度が10℃以下になると、注水できるようになります。

#### ② 中断方法(内部クリーンを途中で中止する場合)

- タッチパネルの[内部クリーン]を3秒以上長押しします。
- 冷水の温度が10℃以下になると、注水できるようになります。

**内部クリーンを2週間以上実施しないと、クリーン灯が点滅します。内部クリーンを実施してください。**

### 3) 長時間使用されない場合のお手入れ

**ウォーターサーバーを長時間使用されない場合は、水が不衛生になる可能性があります。2週間以上使用されない場合は、TOKAIお客様センター(0120-979-113)に連絡してください。1ヶ月以上使用されない場合は、サーバーメンテナンス(有償)を依頼して下さい。**

**注意** 作業を行う前に必ず背面のHOT S/W(ホットスイッチ)をOFFにし、電源プラグを抜いてください。ウォーターサーバーや手が濡れている状態での作業はしないでください。※この作業はすみやかに行って下さい。

#### ① ウォーターサーバーからボトルを外す。

(5-4) ボトルの取り外し方参照)

#### ② 熱湯が冷めるのを待つ(電源を抜いてから60分以上)。

火傷する恐れがありますのでご注意ください。

#### ③ 温水蛇口からコップ等に水を汲み、冷めているか確認する。

#### ④ 冷水蛇口をバケツ等で受けて、冷水蛇口を開き、冷水を完全に抜く。

#### ⑤ 背面の温水ドレン口をバケツ等で受けて、温水ドレン口のキャップを外し、温水を完全に抜く。

熱湯が出る場合がございますのでご注意ください。

#### ⑥ 温水ドレン口を閉める。

#### ⑦ ボトル差込口、冷水蛇口、温水蛇口、水受皿等の掃除を行なう。

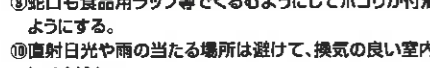
(7. お手入れ方法と日常点検)参照)

#### ⑧ ウォーターサーバー上面のウォーターガードを食品用ラップ等をかけ、ホコリやゴミが入らないようにする。

(ラップフィルムがずれないようにテープ等で固定する)

#### ⑨ 蛇口も食品用ラップ等でくるむようにしてホコリが付着しないようにする。

#### ⑩ 直射日光や雨の当たる場所は避けて、換気の良い室内に保管してください。



### 4) 再びご使用を開始される場合

再びご使用を開始される場合は、メンテナンスが必要な場合がありますのでTOKAIお客様センター(0120-979-113)に相談してください。

#### お願い

再びご使用を開始されて、万が一味やお臭い、異音を感じられたら、TOKAIお客様センター(0120-979-113)にご連絡いただき機器内部のメンテナンス(有償)をご依頼ください。

#### ① ウォーターサーバーのラップを取る。

#### ② 背面の温水ドレン口が閉じられているか指で軽く回して確認する。

#### ③ ボトルの差込口、冷水蛇口、温水蛇口、水受皿等の掃除を行なう。

(7. お手入れ方法と日常点検)参照)

#### ④ ウォーターサーバー本体に汚れや破損がないか点検する。

#### ⑤ ウォーターサーバーにボトルを差し込む。

(5-5) ボトルの取り付け方参照)

#### ⑥ 水がサーバーに入っていくとボトルに気泡が上がります。気泡の発生が止まるまで(数分)の間、水漏れがないことを確認してください。

#### ⑦ 背面のHOT S/W(ホットスイッチ)がOFFになっていることと、電源プラグにホコリが付着していないことを確認し、コンセントに差し込む。

#### ⑧ タッチパネルの[温水]を3秒以上長押ししてください。HOT灯が点滅します。HOT灯が点滅中に、温水注水ボタンを押します。水が出てきたらエア抜き完了です。

#### ⑨ 冷水・温水の蛇口よりコップ2杯分以上の水を取水して捨てて下さい。

#### ⑩ 水漏れなど不具合が無い確認する。

#### ⑪ 背面のHOT S/W(ホットスイッチ)をONにする。

#### ⑫ 適温になるまで30~40分待ってご利用ください。室温により適温までの時間が長くなる場合があります。



#### お願い 安全にお使いいただくために以下の項目も確認してください。

- ① 電源コードや電源プラグが変色したり、異常になっていないか。
- ② 電源コードに傷や変形が無いか。
- ③ 焦げくさい臭いがないか。
- ④ 電源コードが重いもの下敷きになっていないか。
- ⑤ 電源プラグの刃先にホコリがたまっていないか。
- ⑥ 上記のような状態があった場合は、感電事故や火災の原因になりますので特にご注意ください。
- ⑦ ボトルがウォーターサーバーにしっかりと装着されているか、斜めになっていないか。
- ⑧ 温水ドレン口や各蛇口から水漏れはないか。
- ⑨ ウォーターサーバーの下部やまわりに水漏れしていないか。
- ⑩ 上記のような状態があった場合は、感電事故や二次被害のおおる原因となりますので特にご注意ください。

## 異常・故障かな?と思ったら

現象	確認事項	対処方法
1. 冷水・温水が出ない(水量が少ない)	①ボトルが空になっていませんか ②エア抜きができていますか ③チャイルドロックモードになっていませんか ④内部クリーン中ではありませんか	⇒[3. 設置方法]をご覧ください ⇒[3. 設置方法]をご覧ください ⇒[4. ご使用方法]の[3]チャイルドロック]をご覧ください ⇒[7. お手入れ方法と日常点検]の[2]内部クリーンについて]をご覧ください
2. 冷水も温水もぬるい	①電源プラグが抜けていませんか 正面のランプが点灯していますか ②停電ではありませんか	⇒[3. 設置方法]をご覧ください ⇒通電されるまで待つ
3. 冷水になるが温水(熱く)にならない	①HOT S/W(ホットスイッチ)がONになっていますか HOT灯が点灯していますか ②供給能力以上に使用していませんか ③直前までサーバー周辺が暗く なっていないですか	⇒[3. 設置方法]をご覧ください ⇒[2. 各部の名称と仕様]をご覧ください ⇒[4. ご使用方法]の[5] LIGHT SENSOR(ライトセンサー)について]をご覧ください
4. 温水になるが冷水(冷たく)にならない	①ウォーターサーバーの周辺のスぺースは開けられていますか ②背面部のコンデンサにホコリが付着して熱がこもっていませんか ③直射日光が当たっていませんか	⇒[3. 設置方法]をご覧ください ⇒[7. お手入れ方法と日常点検]をご覧ください ⇒直射日光が当たっている時は当たらない場所に移動させてください
5. 水が漏れている	①コンプレッサの音は普段と同じですか ②供給能力以上に使っていないですか ③内部クリーン直後ではありませんか	⇒[7. お手入れ方法と日常点検]の[2]内部クリーンについて]をご覧ください ⇒いつもと違う時は、TOKAIお客様センター(0120-979-113)までご連絡ください ⇒[2. 各部の名称と仕様]をご覧ください ⇒[7. お手入れ方法と日常点検]の[2]内部クリーンについて]をご覧ください
6. 水が漏れている	①ウォーターサーバーの下部や周辺から水が漏れていますか ②蛇口から水が漏れていますか ③ボトルから水が漏れていますか ④温水ドレン口のキャップから水が漏れていますか	⇒[7. お手入れ方法と日常点検]をご覧ください ⇒温水ドレン口を閉めても水漏れが止まらない時は、TOKAIお客様センター(0120-979-113)までご連絡ください ⇒水受皿は手前に引っ張ると取り外しできます

現象	確認事項	対処方法
6. ウォーターサーバー背面よりカチカチ音がする		⇒冷水サーモスタットの自動入りの作動音で故障や異常ではありません
7. ウォーターサーバー内部でピキッと音がする		⇒温水タンクの熱膨張によるもので、故障や異常ではありません
8. ウォーターサーバー背面よりビーンという音がする		⇒コンプレッサーが正常に作動していない可能性があります。TOKAIお客様センター(0120-979-113)までご連絡ください
9. ECOモードをHOTに切替えても温水がぬるい		⇒再加熱するためには10~15分お待ちください。しばらく待ってからご使用ください。
10. ウォーターサーバー内部でブザーが鳴っている	ウォーターサーバー周辺に漏水が起きていないか確認してください	⇒万が一の漏水を検知するブザーが作動しました。TOKAIお客様センター(0120-979-113)までご連絡ください

※対処いただいてもよくならない場合や他のトラブルにつきましては、電源プラグを抜いてTOKAIお客様センター(0120-979-113)までご連絡ください。

## 修理とアフターサービス

[8. 異常・故障かな?と思ったら]の内容をご確認いただき、解決しない故障や異常、および水の味や風味等の変化を感じられたときは、ただちにご使用を中止していただき、TOKAIお客様センター(0120-979-113)にご連絡ください。点検・修理等の対応をさせていただきます。

●修理を依頼される時は次の事項をお知らせください。

- ①お名前、ご住所、電話番号 ②ご使用の機種の種類 ③故障や異常の内容をできるだけ詳しく

### 個人情報の利用目的

弊社(販売代理店)はお客様から預かりした個人情報の適切な保護管理に努めるとともに商品、サービスなどの販売、工事の実施、保守点検等に関するアフターサービス、新商品・新サービスのご案内などに利用させていただきますので、予めご了承ください。また、お客様により良いサービスを提供するため、グループ会社等と共同利用を行う場合がございますので、併せてご了承ください。なお詳しくは弊社(販売代理店)にお問合せください。